

弊社では一着まるごと立体的に編み上げる世界初の縫い目のないニット「ホールガーメント」の編み機を製造しています。ないものは自ら作り出す「もの創り」への情熱と不屈の精神のもと、お客様に安心と信頼、満足を提供しています。

業種 製造 所在地 和歌山市坂田85 TEL 073-471-0511 FAX 073-474-8267

従業員 正規1,305名(男1,035:女270) / 非正規198名(男140:女58 / パートタイマー79名(男0:女79))

結婚・子育てのための取り組み 育児休業 / 男性の育児休業 / 産前産後休業 / 短時間勤務の適用期間を拡大
企業主導型保育 / 子の看護休暇(時間単位取得可能)

WEB <https://www.shimaseiki.co.jp>



育児しながら描けるキャリアデザイン 働き方を柔軟にサポート



子育て世代に寄り添う保育体制で、育児休業後の復帰率が100%に

私たちが入社した頃は妊娠したら退職・離職するのが普通という雰囲気があり、育児休業の制度自体はあっても利用する社員はかなり少数派でした。しかしこの10年位で社会も会社も制度面が変わってきて、退職・離職する人は減少しています。加えて企業主導型保育所「しまキッズランド」ができたことで働きやすさが向上し、「やめなくてもなんとかなるんだ」という意識が女性社員の中に芽生えてきたのかと思います。

というのも、和歌山市の保育所の受け入れ数は秋以降どんどん埋まっていくのが現状で、いざ預けたいという状況になっても外部の認可保育所だとなかなか

入れません。私自身、第2子が12月生まれだったので、しまキッズランドがなければ復職は難しかったと思います。

この他にも、短時間勤務の対応年齢は当初3歳まででしたが、社員の要望に応じて小学3年まで可能になりました。現在50数名がこの短時間勤務を利用して働いています。このような環境の改善で女性の育児休業後の復帰率も100%になりました。以前は男性社員の育児休業実績は10年で1人程度でしたが、ここ最近で3人続々と、社会の流れが変わってきたのを感じています。また、育児を体験した男性社員が将来に立った時に理解が得られやすいのはいいことだと思います。

女性社員の働きやすさは制度面だけでなく、現場にも反映されています。体力面に配慮して重量物は台車で運搬するなどの工夫をしていますし、新しい工場には女性専用のシャワー室も備わりました。部署の違う女性社員同士で仕事上の意見交換や情報共有をするミーティングも開き、様々なキャリアデザインが描けるようになっています。



総務人事部 / 係長 犬塚 美穂さん(右)
山野 千香さん

解消したい課題

子育て世代に向けた制度や環境の整備が不十分

- 育児と仕事の両立が難しく、結婚や出産のタイミングで退職・離職する女性社員が大半だった。
- 受け入れ可能な保育所がなかなか見つからず、職場復帰を断念せざるを得なかった。

課題への取り組み

仕事と育児のより良い両立をめざした環境改善を実施

- 企業主導型保育所「しまキッズランド」を開所し、会社の稼働日に合わせて休日でも受け入れを可能に。職場復帰のタイミングに合わせられるよう、入所の時期を問わない受け入れ態勢を構築。
- 短時間勤務を導入し、要望に併せて対応年齢を小学3年の年度末まで拡大。
- 子の看護休暇を時間単位で取得できるように見直し。
- 専用シャワー室を設置するなど、女性社員が働きやすい製造現場へと改善。

その他のアイデア

- しまキッズランド内に、子供の豊かな感性を育むため、規模は小さくても運動場や農園を整備して、自然とふれあえる環境をつくりました。
- 保育参観週間を設けたことで、安心して子供を預けられる保育環境であることを確認してもらえました。

導入の成果

男女問わず育児しやすい企業へと変化

- 保育所の開所をはじめとした環境の改善により、女性の育児休業後の復帰率100%を達成。
- これまでごく少数だった男性社員の育児休業取得者も増加傾向に。
- 出産後に退職・離職していた女性社員のセカンドキャリアの場として活躍してもらうことも視野に。

現場の声

【短時間勤務と企業主導型保育所を利用している
トータルデザインセンターの清原さん】

日々の生活がすごく楽になりました



現在下の子供を企業主導型保育所「しまキッズランド」に預けています。社内に保育所があるという基本的な便利さはもちろんのこと、子供の汚した服を洗濯してもらえるなど、通所にかかる準備もフォローしてくれるので、日々の生活がすごく楽です。

されるということではなく、警報が出ていても開けてくれるなど、社員と会社に寄り添った保育所で本当に助かっています。

出産前は国内外問わず出張をしていましたが、今は後輩の育成やeラーニングの構築など、育児への負担が少ない業務を担当しています。子育て世代にとって世の中が良い方向に変わってきて、育児と仕事の両立は諦めなければならない、という環境は少なくなってきました。これから様々な立場の社員が増えていく中で、さらに働きやすいダイバーシティな会社になればいいと思います。

